

第5学年 国語科学習指導案

日 時 平成21年9月10日(木)5校時
児 童 男10名 女6名 計16名
指導者 岡 千治

- 1 単元名 詩を味わおう(光村図書 5年上)
教材名 「未確認飛行物体」(詩)

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、以下の新学習指導要領の領域の目標と内容を具現化する学習内容である。

- | |
|---|
| <p>1 目標
(3) 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。</p> <p>2 内容
C 読むこと
(1)エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。</p> |
|---|

本単元の目標は、「詩の表現を味わい、作者のものの見方・感じ方について考え、感想をもつ」ことである。本単元では、詩の中でおもしろいと思うところや気に入ったところに視点を絞り、その表現技法や着想のおもしろさをじっくり考えることを「詩の表現を味わう」と捉えた。本教材「未確認飛行物体」は3連で構成されている。第1連で読者はいきなり、薬缶が空を飛ぶという空想の世界へ導かれる。二重否定の表現の魅力が読者の心を冒頭からつかんでゆく。第2連では、夜ごとこっそり台所を抜け出し、懸命に飛んで行く一生懸命でどこかユーモラスな薬缶の姿が描かれ、第3連では、遠い砂漠にたどり着き大好きな白い花に水をみんなやってみる。いわば、愛する人に尽くすけなげな姿が描かれている。ここでは、対比によって遠くまで飛んで行っているということが表現されており、読者の想像を掻き立てている。また、この詩全体が擬人化された表現になっているところもこの詩の魅力になっている。さて、前単元の詩「晴間」「海雀」「雪」では、文語詩、自然の描写を中心に学んだ。本教材は、物語性をもつ空想の詩であり、詩の内容、表現の技法、リズム、主題の点において前単元の詩とは大きな違いをもつ。そこで、本単元は詩の表現を味わい、作者のものの見方・感じ方について考え、それに対する感想をもつことをねらいとしている。

本教材「未確認飛行物体」は、空想的でユーモラスな表現、そして、擬人法や対比などといった表現技法も使われた教材である。したがって、詩の表現を味わい、作者のものの見方・感じ方について考え、それに対する感想をもつ学習に本教材は適している。

(2) 児童について

児童は、4月の意識調査の結果では、「国語の学習は楽しいですか」という質問に対して、80%以上が肯定的な回答をしている。また、「あなたは、物語や説明文や詩などを読む学習をするとき、楽しいですか」という質問に対して85%以上が「楽しい、どちらかという楽しい」と答えている。この結果から見ると、「読む学習」という点では大きな抵抗はないようである。また、「どんな活動を

したとき、書かれていることが分かりますか」という質問に対して、最も多かったのは「線を引いて探したとき」で約70％、次に多かったのが「気持ちや様子を考えてノートに書いたとき」で60％以上という結果となった。この結果からみると、読みとるための書く活動「サイドラインを引く」や「ノートに書き込む」に対しても大きな抵抗はないことが分かる。

これまで5年生の詩の学習において、「晴間」「海雀」「雪」で文語詩独特の言い回し・リズム・自然の情景などを読みとる学習をした。この学習で読みとるための書く活動として、サイドラインを引き、そこに書き込みをした。サイドラインを引いたところや書き込みしたこと、友達の発表を聞いて気付いたことなどを発表し合いながら自然の情景を読み取った。書き込みに関しては、聞こえてくる音の様子などを自分で考え、書き込む活動を主にした。サイドラインまでは引けるものの、そこから分かる音や様子などを自分なりに言葉にして書き込むということについては、まだ不十分な児童がいる。

この単元を通して、詩の表現を味わい、作者のものの見方・感じ方について考え、それに対する感想をもつことができる児童にしていきたい。

(3) 指導にあたって

本単元は、教師の範読を何度か聞きながらおもしろいと感じるところや気に入った表現にサイドラインを引く活動から始める。それを交流しこの詩の魅力を共感していくとともに、この詩の全体像を把握させる。交流することによって、自分の考えやイメージを豊かにするとともに、自分は気付かなかった友達の意見を聞くことによってさらに豊かな読みにしていく。次に、作者の思いが伝わってくる言葉にサイドラインを引き、伝わってくる作者の思いを書き込ませる。そして、作者の思いとこの作品の中で使われている表現を比較し、作者のものの見方・感じ方についての感想を書く活動をする。2時間目には、前時に学習した作者の思いを音読に生かす学習をし、最後に作者の思いに対する自分の考えを手紙に書かせる。

読みとるための書く活動としては、この詩のおもしろいと感じるところや気に入った表現にサイドラインを引き、その理由をそこに書き込ませてこれからの学習の起点にさせていく。このサイドラインをしたところや書き込んだことを交流し合いながら、互いの視点や考えを交流し読みとりに深みをもたせていきたい。また、同時に読みとる内容の多様性を認め合い、互いの意欲とスキルの向上を図りたい。また、作者の思いが伝わってくる言葉にサイドラインを引き、伝わってくる作者の思いを書き込ませる。ここでの「作者の思い」という視点で作品を読み考えるステップを踏ませることで、次に行う作者のものの見方・感じ方について感想を書く活動へとつなげていきたい。

3 単元目標

【関心・意欲・態度】

- ・ 詩の着想や表現のおもしろさを味わい、楽しんで詩を読もうとする。

【読むこと】

- ・ 詩の表現を味わい、作者のものの見方・感じ方について考え、感想をもつことができる(読(1)エ)

4 単元指導計画(2時間)



読みとるための書く活動

段階	時	学習活動(○)と支援の工夫(・)	評価
つかむ・ふかめる・まとめる	1(本時)	<p>「未確認飛行物体」を読み、作者が込めた思いを考え、感想をもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 範読を聞きながらおもしろいところや気に入った表現にサイドラインを引く。 書 サイドライン・書き込み ○ 意見を交流しながら、詩の全体像を把握し、この詩の魅力を共有する。 ○ 作者の思いがこもっている言葉にサイドラインを引き、その思いを想像して書き込む。 書 サイドライン、書き込み ○ 作者が作品に込めたであろう思いと作品にある表現を比較しその表現の仕方について自分の感想を書く。 書 感想を書く ○ 音読する。 	(読) 作者が作品に込めたであろう思いと作品中の表現を比較し感じたことをまとめている。〈ノート〉
	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作者が作品に込めた思いを想像しながら音読する。 ○ 作品に込めた作者の思いに対する感想や意見など、作者に伝えたいことを手紙に書く。 書 手紙を書く 	<p>(関) 詩の着想や表現のおもしろさを味わい、楽しんで詩を読もうとしている。 〈音読・観察〉</p> <p>(読) 作者のものの見方・感じ方に対する自分の考えを書いている。〈手紙〉</p>

5 本時の指導

(1) ねらい

作者が作品に込めた思いと作品中の表現を比較し感じたことをノートに書く。

〈読みとるための書く活動〉

- おもしろいところや気に入った表現にサイドラインを引く。
- サイドラインを引いた理由をそこに書き込む。
- 作者の思いがこもっている言葉にサイドラインを引く。
- サイドラインを引いたところから想像できる作者の思いを書き込む。

(2) 具体の評価規準

おおむね満足(B)	努力を要する児童への支援
・ 作品に込めた作者の思いと作品中の表現を比較し感じたことをまとめている。	・ 作品に込められた思いをもう一度確認してから表現と比較するようにする。

(3) 展開

段階 時間	学習活動(○)と予想される児童の反応(・)	支援の工夫(・)と評価(◎)
つかむ 5分	<p>1 単元を見通す。</p> <p>○詩を味わうには、どんな学習活動がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情景を想像する。 ・ 工夫して音読する。 ・ 表現技法などに着目する。 <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 作者の表現の仕方について考えよう </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期に行った詩の学習を思い出させ、詩の学習活動を考えさせる。
ふかめる 25分	<p>3 課題を追究する。</p> <p>○ 範読を聞き、おもしろいと思うところや気に入った表現にサイドラインを引き、そのわけを書き込みましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> 書く活動 おもしろいと思うところや気に入った表現にサイドラインを引き、そのわけをそこに書き込む </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 葉缶だって、空を飛ばないとはかぎらない。 ・ 夜ごと、こっそり台所をぬけ出し、 ・ 心もち身をかしげて。 ・ 一生けんめい飛んで行く。 ・ 息せき切って、飛んで、飛んで、 ・ でももちろん、そんなに速かないんだ ・ 砂漠のまん中に一輪咲いた淋しい花、 ・ 大好きなその花に、水をみんなやって戻って来る。 <p>○ サイドラインを引いたところや書き込みしたことについて交流しましょう。</p> <p>○ 作者の思いが伝わってくる言葉にサイドラインを引き、伝わってくる作者の思いを書き込みましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> 書く活動 作者の思いが伝わってくる言葉にサイドラインを引き、伝わってくる作者の思いを書き込む。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ サイドラインを引いたわけを書けない児童には、なぜそこにサイドラインを引いたか話しかけ、会話の中から書き込む言葉を引き出す。 ・ 交流することで考えが深まったり変わったりしてもよいことを伝え、自由に話せるよう声をかける。

	<ul style="list-style-type: none"> ・薬缶だって、空を飛ばないとはかぎらない。 →薬缶も空を飛んでほしいな。 ・一生けんめいに飛んで行く。 →がんばれと応援している。 ・息せき切って、飛んで、飛んで、 →とても一生懸命なんだと伝えている。 ・大好きな白い花に、 →好きで、好きでたまらない。 ・水をみんなやって戻って来る。 →全力で相手にやってあげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サイドラインで苦勞している児童には、気持ちが分かるところでもよいことを伝える。そして、そこから分かる気持ちでもよいことを伝える。
ま と め る 15 分	<p>4 本時の学習をまとめる。</p> <p>○ 作者は伝えたい思いを前半でたくさん挙げた表現を使いながらこの詩に表現しています。この表現の仕方についてあなたは どう 思いますか。感想をノートに書きましょう。</p>	
	<p>書く活動 作者が作品に込めたであろう思いと作品中の表現を比較し感じたことを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 想像力が豊かだな。 ・ 深く考える人だな。 ・ 僕なら、もう少し分かりやすくかくな。 ・ 詩を読むのは、楽しいな。 ・ 詩は複雑で難しいな。 <p>○ 自分の意見を交流しましょう。</p> <p>5 次時の予告をする。</p>	<p>◎ 作者が作品に込めたであろう思いと作品中の表現を比較し感じたことを書いている。(ノート)</p>

(4)板書計画

<ul style="list-style-type: none"> ・ 深く考える人だな。 ・ 想像力が豊かだな。 ・ 僕ならもう少し分かりやすくかくな。 	<p>詩を味わおう</p> <p>未確認飛行物体</p> <p>作者の表現の仕方について考えよう</p> <p>《おもしろいところ、気に入った表現》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬缶だって、空を飛ばないとはかぎらない。 ・ 夜ごと、こっそり台所をぬけ出し、 ・ 心もち身をかしげて。 ・ 一生けんめい飛んで行く。 ・ 息せき切って、飛んで、飛んで、 ・ でももちろん、そんなに速かないんだ ・ 砂漠のまん中に一輪咲いた淋しい花、 ・ 大好きなその花に、水をみんなやって戻って来る。 <p>《作者の思い》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬缶だって、空を飛ばないとはかぎらない。 ↓薬缶も空を飛んでほしいな。 ・ 一生けんめいに飛んで行く。 ↓がんばれと応援している。 ・ 息せき切って、飛んで、飛んで、 ↓とても一生懸命だ。 ・ 大好きな白い花に、 ↓好きで、好きでたまらない。 ・ 水をみんなやって戻って来る。 ↓全力で相手にやってあげている。 	
---	--	--